

初版作成日： 2021/11/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ニューガラスC&C 420ml×24/CS

製品番号 (SDS NO)：1788-1

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限：窓ガラス及びガラス製ミラーの洗浄用【業務用】

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：横浜油脂工業株式会社

住所：神奈川県横浜市西区南浅間町1-1

担当部署：技術開発部

担当者(作成者)：平沢 肇

電話番号：045-311-4701

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

エアゾール：区分 2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

H223 可燃性エアゾール

H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ

H319 強い眼刺激

注意書き

安全対策

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P211 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していても容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

貯蔵

日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

エアゾール製品に関する高压ガス保安法の警告注意表示

使用中噴射剤が噴出する構造のもの(火災長試験による火災が認められるもの又は噴射剤として可燃性ガスを使用しているもの)

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。
 炎や火気の近くで使用しないこと。
 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。
 火の中に入れてないこと。
 使い切って捨てること。
 使用する高圧ガスの種類

LPG

特定の物理的及び化学的危険性

高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。

燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化管(PRTR)法
プロピルアルコール	1~5	67-63-0	2-207	-
ノルマルブタン	3未満	106-97-8	2-4	-
プロパン	3未満	74-98-6	2-3	-
イソブタン	1未満	75-28-5	2-4	-
非イオン系界面活性剤	1未満	非公開	非公開	-
陰イオン系界面活性剤	1未満	非公開	非公開	化管法第1種

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分
 プロピルアルコール , ノルマルブタン
 安衛法「通知すべき有害物」該当成分
 プロピルアルコール , ノルマルブタン

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分の戻らない時は、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹸でよく洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 飲み込んだ場合は医師の診察/手当てを受けること。
 子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診察/手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

水を消火に用いてはならない。

冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

容器が高温で破裂する恐れがあるので消火活動には十分距離をとる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

引火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

多量の場合、人を安全に待避させる。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、

雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する

火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

火の中に入れていないこと。
炎や火気の近くで使用しないこと。
火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
火花を発生しない工具を使用すること。
規定時間以上噴射しないこと
火気を使用している室内で使用しないこと
人体に向かって噴射しないこと、また噴射気体を直接吸入しないこと
取扱いは、屋外または換気のよい場所で行う。
取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

安全取扱注意事項

保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

接触回避

強酸化剤

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。
製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
湿気の多い所、水周りなど容器が腐食しやすい場所におかないこと
熱/火花/裸火/高温のもののような着火原から遠ざけること。

(避けるべき保管条件)

日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(プロピルアルコール)

作業環境評価基準(2004) <= 200ppm

許容濃度

(プロピルアルコール)

日本産衛学会(1987) (最大値) 400ppm; 980mg/m³

(ノルマルブタン)

日本産衛学会(1988) 500ppm; 1200mg/m³

(イソブタン)

日本産衛学会(1988) 500ppm; 1200mg/m³

(プロピルアルコール)

ACGIH (2001) TWA: 200ppm;

STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

(ノルマルブタン)

ACGIH(2017) STEL: 1000ppm(EX) (中枢神経系障害)

(プロパン)

ACGIH: 付録F参照: 最小酸素濃度(D,EX) (窒息性)

(イソブタン)

ACGIH(2017) STEL: 1000ppm(EX)(as Butane) (中枢神経系障害)

ばく露防止

設備対策

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 淡黄白色半透明

臭い : 原料臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 点火性あり

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : 48℃

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH : 10~11

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度 : 溶ける
 溶媒に対する溶解度データなし
 n-オクタノール/水分配係数データなし
 蒸気圧データなし
 蒸気密度データなし
 蒸発速度データなし
 密度及び/又は相対密度 : 1
 相対ガス密度(空気=1)データなし
 粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発をもたらす。

避けるべき条件

加熱・熱源・裸火
 強酸化剤との接触を避ける。
 高温へのばく露

混触危険物質

強酸化剤(引火性物質のため、強酸化剤との接触を防ぐこと。)

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]
 (プロピルアルコール)
 rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)
 (陰イオン系界面活性剤)
 rat LD50=1200mg/kg (SIDS, 2009)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
 (プロピルアルコール)
 rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)
 (陰イオン系界面活性剤)
 rabbit LD50=ca. 200mg/kg (SIDS, 2009)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]
 (ノルマルブタン)
 gas: rat LC50=276798.8ppm/4hr (DFGOT vol.20, 2003)
 (イソブタン)
 gas: mouse LC50=376696ppm/4hr (cal.) (DFGOT vol. 20, 2003)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]
 (非イオン系界面活性剤)
 ラビット 中等度の刺激性 (NTP TR 479, 2001)

(陰イオン系界面活性剤)
 ラビット 中等度から強度の刺激性 (SIDS, 2009)
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 [日本公表根拠データ]
 (プロピルアルコール)
 ラビット (PATTY 6th, 2012 et al)
 (陰イオン系界面活性剤)
 ラビット 非可逆的な影響 (SIDS, 2009)
 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
 生殖細胞変異原性
 [日本公表根拠データ]
 (イソブタン)
 cat. 1B; 1,3-ブタジエン (平成29年度GHS分類結果, 2017)
 発がん性
 [日本公表根拠データ]
 (イソブタン)
 cat.1A; 1,3-ブタジエン (平成29年度GHS分類結果, 2017)
 (非イオン系界面活性剤)
 cat.2; IARC Gr.2B (IARC 101, 2012)
 (プロピルアルコール)
 IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない
 (非イオン系界面活性剤)
 IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない
 (プロピルアルコール)
 ACGIH-A4(2001): ヒト発がん性因子として分類できない
 生殖毒性
 [日本公表根拠データ]
 (プロピルアルコール)
 cat. 2; PATTY 6th, 2012
 (イソブタン)
 cat. 1B; 1,3-ブタジエン (平成29年度GHS分類結果, 2017)
 催奇形性データなし
 特定標的臓器毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 [区分1]
 [日本公表根拠データ]
 (プロピルアルコール)
 中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)
 [区分3(気道刺激性)]
 [日本公表根拠データ]
 (プロピルアルコール)
 気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)
 [区分3(麻酔作用)]
 [日本公表根拠データ]
 (ノルマルブタン)
 麻酔作用 (DFGOT vol.20, 2003; ACGIH 7th, 2001)
 (プロパン)
 麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)
 (イソブタン)
 麻酔作用 (DFGOT vol.20, 2003)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
 [区分1]
 [日本公表根拠データ]
 (プロピルアルコール)
 血液系 (EHC 103, 1990)

(ノルマルブタン)

中枢神経系 (DFGOT vol.20, 2003; PATTY 6th, 2012)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(プロピルアルコール)

呼吸器、肝臓、脾臓 (EHC 103, 1990)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(陰イオン系界面活性剤)

甲殻類 (アカルチア) EC50/LC50=0.12mg/L/96hr (SIDS, 2009)

(プロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(陰イオン系界面活性剤)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC (繁殖)=0.88mg/L/7days (SIDS, 2009)

(プロピルアルコール)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)

水溶解度

(ノルマルブタン)

0.0061 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(陰イオン系界面活性剤)

溶ける (15 g/100 ml, 20°C (ICSC, 1997))

(プロピルアルコール)

In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)

(プロパン)

0.007 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(イソブタン)

溶けない (ICSC, 1998)

残留性・分解性(BOD・COD)

(陰イオン系界面活性剤)

急速分解性あり (BOD分解度=85.0%/14 days; TOC分解度=99.3%/14 days (J-CHECK 2016))

(プロピルアルコール)

急速分解性あり (BODによる分解度:86% (既存点検, 1993))

生体蓄積性

(ノルマルブタン)

log Pow=2.89 (ICSC, 2003)

(陰イオン系界面活性剤)

log Kow = 1.6 (PHYSPROP DB, 2008)

(プロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

(プロパン)

log Pow=2.36 (ICSC, 2003)

(イソブタン)

log Pow=2.8 (ICSC, 1998)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使い切って捨てること。

廃棄する際は、中身を使いきってから、火気のない戸外でボタンを押し、ガスを完全に抜いてから、
地域のゴミ処理方法に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：1950

正式輸送名：

エアゾール、可燃性（容積が1L以下で、再充電ができないものであって、かつ、備考の欄の規定
により当該危険物に該当するものに限る。）

分類または区分：2.1

容器等級：該当しない

指針番号：126

特別規定番号：63; 190; 277; 327; 344; 381

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号：1950

正式輸送名：

エアゾール、可燃性（容積が1L以下で、再充電ができないものであって、かつ、備考の欄の規定
により当該危険物に該当するものに限る。）

分類または区分：2.1

副次危険：SP63

特別規定番号：63; 190; 277; 327; 344; 381; 959

IATA 航空危険物規則書

国連番号：1950

正式輸送名：

エアゾール、可燃性（容積が1L以下で、再充電ができないものであって、かつ、備考の欄の規定
により当該危険物に該当するものに限る。）

分類または区分：2.1

危険性ラベル：Flamm.gas

特別規定番号：A145; A167; A802

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

生殖細胞変異原性：区分1, 1A, 1B 該当物質

イソブタン

発がん性：区分1, 1A, 1B 該当物質

イソブタン

生殖毒性：区分1, 1A, 1B 該当物質

イソブタン

特別の安全対策

容器の破損、漏れがないことをたしかめる。

荷ぐずれ防止を確実に行う。

該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

直射日光を避ける。

水漏れ厳禁。

横積み厳禁。

夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。

輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。
 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
 有害液体物質(Z類)
 プロピルアルコール(Z-020)
 国内規制がある場合の規制情報
 船舶安全法
 ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1
 航空法
 高圧ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ノルマルブタン(別表第9の482); プロピルアルコール(別表第9の494)

名称通知危険/有害物

ノルマルブタン(別表第9の482); プロピルアルコール(別表第9の494)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 < 65°C)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

指定可燃物

可燃性液体類(届出数量 2m3)

化審法

優先評価化学物質

プロピルアルコール(政令番号102 人健康影響); 非イオン系界面活性剤(政令番号173 人健康影響/
 生態影響); 陰イオン系界面活性剤(政令番号214 生態影響)

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2020 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

※注意

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者には提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和2年度(2020年度))です。